

令和7年度 関西医科大学大学院看護学研究科
博士後期課程 入学試験問題 夏期 外国語（英語）出題の意図および解答例

1)

【出題の意図】

英語文章の基礎的な読解力を確認するとともに、与えられた内容を的確に日本語で表現する能力を測ることを目的としている。特に、単なる直訳にとどまらず、原文の論旨を踏まえて論理的かつ明瞭な日本語文章として再構成する力を評価する。

【解答例】

ヘルスリテラシーとは、健康に関する情報を入手し、それを理解し、評価したうえで活用する能力を指す。

ここで「評価」とは情報の妥当性や信頼性を見極める力を意味し、「活用」とはその情報に基づいて適切な判断を下す力を指す。

ヘルスリテラシーを身につけることにより、人々は医療への関与、疾病予防、健康増進の面で主体性を高めることができる。

2)

【出題の意図】

日本人のヘルスリテラシーが欧米人より低いとされる要因を読み取り、健康情報を批判的に吟味する力の弱さや、患者と医療者の意思決定共有の乏しさについて英文を解釈する力を確認する。

【解答例】

日本人のヘルスリテラシーが低い原因は、第一に健康情報が一方的に提供され、個人が批判的に吟味する機会が乏しいこと、第二に、患者と医療者で意思決定を共有する文化が十分に根付かず、主体的関与や判断力の育成が妨げられていると説明している。

3)

【出題の意図】

対象者のヘルスリテラシーがどのように健康や治療へ影響するかを多角的に考察し、自らの見解を論理的に記述できるかを評価する。

【解答例】

解答例1：誤情報や誤認識への対応

患者が誤情報や誤認識を経験するとき、看護師は正確で理解しやすい情報を伝え、信頼性

を見極める視点を示して理解を促し、行動変容を支援する。

解答例 2：外国人患者への支援

外国人患者は言語や文化の違いで医療情報の理解が困難なことが多く、看護師は創意工夫により、意思決定に参加できる環境を整え、適切な医療を受けられるよう支援する。

解答例 3：認知症患者との関わり

認知症患者は新しい情報の理解や記憶が困難であるため、看護師は繰り返し説明や実演を行い、家族とも連携してセルフケアや服薬管理を支援する必要がある。

解答例 4：価値観を尊重した支援

患者の価値観や生活背景を尊重しながら説明を行うことは、納得感を高めるだけでなく、治療や生活習慣の選択に主体性をもたらす。看護師は価値観を共有する対話を通じて行動変容を促す役割を担う。

解答例 5：信頼関係とコミュニケーション

ヘルスリテラシーの向上には、信頼関係に基づいた双方向のコミュニケーションが不可欠である。看護師が傾聴と共感をもって関わることで、患者は安心して適切な医療を受け、行動変容につなげることができる。

問題 2.

1)

【出題の意図】

英語文章の基礎的な読解力を確認するとともに、与えられた内容を的確に日本語で表現する能力を測ることを目的としている。特に、単なる直訳にとどまらず、原文の論旨を踏まえて論理的かつ明瞭な日本語文章として再構成する力を評価する。

【解答例】

看護師が心身の健康状態の不良を報告した場合、医療過誤を起こす可能性は 26～71%高いことが明らかになっている。うつ病は医療過誤の最大の要因であると報告されており、メンタルヘルスは患者ケアに影響するだけでなく、離職や欠勤を増やすことで雇用者の経費を押し上げ、看護師不足を悪化させ、患者の満足度や治療成績を低減させる。

2)

【出題の意図】

本設問は、看護師のメンタルヘルス維持方策を英文から正確に読み取り解釈する力、さら

にその効果が看護実践の質を保障する点を論理的・明瞭に表現する力を評価する。

【解答例】

筆者は、医療機関は看護師のメンタルヘルスを継続的に確認・支援し、勤務中の問題にも対応できる体制を整える責任があると述べる。その結果、業務関与が高まり、離職や欠勤が減少し、組織の健全性が保たれ、看護師不足の改善やケアの質向上につながる。

3)

【出題の意図】

本設問は、看護師のメンタルヘルス維持が健康管理や業務遂行、職場定着、看護の質や患者安全に及ぼす影響を多角的に考察する力を確認する。要約にとどまらず、臨床経験や看護職の視点を踏まえ、自らの見解を論理的・明瞭に表現する力を評価する。

【解答例】

解答例1：患者安全の観点

看護師のメンタルヘルスが守られることで集中力や判断力が維持され、医療過誤のリスクが減少する。安全なケアを継続的に提供できることは、患者の安心と看護の質を保障する基盤となる。

解答例2：職場環境整備の観点

組織がメンタルヘルス支援を整えることで離職や欠勤が減少し、人員の安定が保たれる。余裕のある職場環境は看護師の負担を軽減し、継続的に質の高い看護を提供できる体制を実現する。

解答例3：チーム医療の観点

健全なメンタルヘルスはチーム内の協働を円滑にし、看護師同士が支え合いながら働くことを可能にする。心理的に安心できる環境は、チーム全体のパフォーマンスを高め、患者ケアの質を保障する。

解答例4：看護師個人の成長と満足度の観点

メンタルヘルスが良好に保たれることで、看護師は自己効力感や専門職としての成長意欲を高めることができる。患者に貢献できていると実感することは、看護師にとって喜びと満足度をもたらす看護実践の継続や質の向上を支える基盤となる。

解答例5：多様な対象者支援の観点

認知症患者や外国人患者など、多様なニーズに応じるには心の余裕が必要である。看護師

のメンタルヘルスが守られてこそ、患者の価値観を尊重し、きめ細やかで適切な看護を実践できる。